

松高だより

臨時号

発行
松任高校
PTA
広報委員会

「明き心・深き心・堅き心」歌声高らかに

祝 創立50周年記念式

松任高校創立50周年記念式典が、平成24年10月13日（土）白山市松任文化会館で行われ、全校生徒513人と同窓生、保護者や教職員ら約700人が半世紀の節目を祝いました。式では竹内千恵子校長が式辞、橋本和雄実行委員長が挨拶を述べ、谷本正憲石川県知事ははじめ多くの来賓の皆様から挨拶や祝辞をいただきました。最後に生徒代表の川端竜矢君が誓いの言葉を述べ、全員で校歌を斉唱しました。



竹内千恵子校長の式辞

竹内千恵子校長 の式辞（全文）

本日ここに、石川県知事谷本正憲様、石川県議会議員山田憲昭様、白山市長作野広昭様をはじめ、多くのご来賓の皆様と並びに本校ゆかりの方々のご臨席のもと、創立五十周年記念式典を盛大に挙行できますことは至上の喜びであり、厚くお礼申し上げます。

松任高校は、昭和三十八年に全日制普通科、家政科及び定時制普通科を擁する高等学校として、手取川扇状地帯の中心、旧石川郡松任町で、その産声あげました。本校創立の前身、翠星高校の前身である松任農業高校の三浦地区への移転が決定し、本校はその跡地と校舎の一部を引き継ぐ形で誕生しました。

昭和三十九年に松任農業高校の移転が完了すると、校舎が本校専用となり、その後は、定員を増加させながら県下有数のマンモス普通高校として成長してまいりました。当時は、日本が高度産業社会へと脱皮し、世界に冠たる経済大国へと歩みはじめた時であり、教育の質的、量的拡大が求められ、本校もその要請に応える

形で発展を遂げてきました。「明き心」に「深き心」に「堅き心」を建学の精神として、昭和から平成の半世紀にわたり、軸足をこの地に置き、地域に愛される学校作り、地域の発展に貢献できる人間作りを強力に推し進めてまいりましたが、地域とともに歩むという精神は、本校五十年の歴史を貫くとともに、今なお本校教育活動の支柱となっています。

平成十二年には、総合学科高校に改編し、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目標として掲げ、生徒の個性を尊び、既存の学科の枠にとらわれない多様な科目を開設し、新たな発想で教育内容や教育方法を捉え直すことに着手しました。

個別学習やグループ学習といった授業形態を積極的に取り入れ、学習の基礎・基本を徹底し、思考力・判断力・表現力を育み、さらには地域と連携したキャリア教育も展開しています。地域社会の中で学びを深化させ、その繋がりを強く意識させることをとおして、地域発展の屋台骨となる人材を育てるといふ、本校創立以来の使命を一貫して果たし続けています。

総合学科への改編に併せて校舎の改築改修も進み、平成十二年から十六年にわたり、普通教室や特別教室棟の大規模改築改修工事、耐震補強工事が行われ、更に今年は、創立五十周年を記念して、同窓会のご尽力で中庭も整備され、安心し、落ち着いた学習や部活動に励むことができる教育環境が整いました。環境は人格の形成に多大な影響を与えます。この素晴らしい学舎で、生徒たちが生涯に一度の高校生活を満喫し、かけがえのない出会いをいくつも重ね、豊かな時間を過ごしてくることを願っています。

取組に加えて、上級学校進学という高い目標を掲げ努力を続ける生徒たちに、補習授業や添削指導の充実などを通じて、十分な支援ができる体制も確立しています。二つの学科が共に発展するよう、互いの長所を認め合い、活かす試みの、その成果がいよいよ問われることとなります。本校はまさに、新しいステージに向けての階段を上り始めているところです。

一方、部活動に目を転じますと、その活躍はめざましく、今年のインターハイではフエニング個人エペで七位の成績を残しました。吹奏楽部は中部日本吹奏楽コンクール小編成の部で金賞を受賞し、県代表として本大会に進み、創立以来の快挙となる第2位の栄誉に輝いています。JRC部員は、近隣の高齢者施設を訪ね、ハンドマッサージをしながら高齢者と触れあうという活動を続けています。自分たちの目線で、自分たちの出来ることを手堅く、着実にこなしている姿には、本校生徒の純真さと誠実さが溢れており、清々しい思いに満たされます。

本校校庭には大空にすくと伸びる松の巨樹がありますが、夏の日差しや、冬の風雪にも耐え、一年を通して鮮やかな緑の色彩を誇るところに、たくましい生命力や忍耐強さが連想されます。そして、この松の巨樹に本校生徒の将来像が重なります。

現代は、経済のグローバル化や産業構造の転換など、めまぐるしく変化する時代であり、混沌とした未来が待ち受けていることも予感されます。しかし、松任高校生一人ひとりが、高い志と気概を持ち、直面する課題に怯まずに対峙し、果敢に挑戦していくものと確信しています。

橋本和雄実行委員長
の挨拶（概要）
この度五十周年記念事業と



谷本正憲石川県知事の挨拶

谷本正憲石川県知事 の挨拶（概要）

終わりにりましたが、本校の発展・充実に尽力下さいました同窓会をはじめ各方面の方々に心よりお礼申し上げますと共に、創立五十周年という節目に立ち会うことができた巡り合わせに感謝し、本校の更なる飛躍をお誓い申し上げます。

生徒の皆さんには、諸先輩が築き上げてきた伝統を誇りとして、高い志をもち、勉学や部活動に励み、充実した高校生活を送っていただきたいと思ひます。日々の皆さんの努力により、広い視野に立って物事を判断し、様々な課題に柔軟に対応できる力を身に付けた活力あふれる人間に成長し、将来、社会の様々な場で活躍されることを願っております。

同窓会、PTA、教職員の皆様には、今後とも一丸となって本校の教育力の向上に向け学業や部活動など様々な面でのサポートをいただくとともに、県の次代を担う人材の育成により一層尽力されることを期待申し上げます。

霊峰白山を仰ぎ、水清く、空青く、緑溢れる自然環境に恵まれ、輝かしい歴史と伝統を誇る私たちの母校で学ぶ在校生諸君、今後いかなる校風と伝統を作り上げていくか、期待大なるものがあります。文武両道に励み、日々スポーツや文化・芸術、ボランティア活動の各分野で一層活躍されることを希望します。

若々しい在校生諸君が、社会にそして母校に貢献できる責任のもてる社会人に成長することと思ひます。時には挫折感を覚えることがありますが、そんな時に心を癒してくれるのが母校であり、友情ではないでしょうか。そして、いかに環境の変貌があろうとも、諸君達がこの学校で学んだ三年間の足跡は決して消え去るものではないと信じています。

在校生諸君の未来に向けての果敢な挑戦と更なる飛躍を期待いたしますと共に、母校の発展のため今後とも物心両面にわたり支援協力いたすことを誓いお祝いの言葉といたします。



橋本和雄実行委員長の挨拶